

平成30年度第2回香取市総合教育会議 会議録

1 期 日 平成31年2月26日(火) 開会 午後2時50分
閉会 午後4時00分

2 場 所 市役所4階 庁議室

3 出席委員 市長 宇井成一
教育長 粟井明彦
教育長職務代理者 東陽一
教育委員 平山茂治
教育委員 平塚智子
教育委員 熱田昇

4 出席職員 教育部長 岩立一郎
教育総務課長 成毛正道
学校教育課長 大平伸一
生涯学習課長 平野功
生涯学習課副参事 宇井正志
香取学校給食センター所長 鏑木良則
学校教育課指導主事 板垣才門
学校教育課指導主事 高井研太
教育総務班長 木内智子

5 開会

教育総務課長

これより、平成30年度第2回香取市総合教育会議を開会いたします。私は、司会進行を務めさせていただきます教育総務課の成毛と申します。

どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本会議は、香取市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、原則公開となっており、本日は、非公開とすべき案件がないことから傍聴希望者の入室を認めています。

それでは、次第により会議を進めさせていただきます。はじめに、本会議の主催者であります宇井市長よりご挨拶をいただきます。

6 市長挨拶

本日は、平成30年度 第2回総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

日頃から、教育委員の皆様には、香取市の教育行政の推進に対してご尽力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

さて、本日は21世紀を生きる子どもたちにとって必要不可欠な力である「情報活用能力」、そしてその基盤となる「学校におけるICT教育のあり方」をテーマに、皆様と協議、意見交換を行ってまいりたいと考えています。

どうか、有意義な会議にしてまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

教育総務課長

ありがとうございました。これより議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、香取市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長をお願いいたします。

7 議題

議長(市長)

それでは、議事に入らせていただきます。教育委員の皆様方には、忌憚のないご意見等を頂戴できればと思います。

それでは、会議を進めさせていただきます。

まずは、「学校におけるICT教育の推進」について、事務局から説明させていただきます。その後、事務局の説明に対してのご説明を受けたいと考えています。

その後の話し合いの柱としては、第1に「PCやタブレットの整備の必要性について」、第2に「ICT機器を活用したわかる授業の推進について」協議をしてまいります。

はじめに、ICT教育の国の方針や、香取市の現状について、事務局の説明を求めます。

学校教育課長

ICT教育の推進に向けた、国や香取市の現状等について説明

議長

ただいまの説明について、ご質問等ございますか。ご質問、ご意見等がある方は、挙手をお願いいたします。

教育委員

ICT環境の整備状況について記されてますが、今後の設置予定、計画はありますか。

学校教育課長

国の方針として、2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされる水準は、学習者用コンピュータは3クラスに1クラス分程度の整備。指導用コンピュータが授業を担当する教師1人

に1台、そして大型掲示装置・実物投影機を100%整備、各普通教室1台、特別教室用として6台、超高速インターネット及び無線LANを100%整備、本日は触れておりませんが統合型校務支援システムを100%、ICT支援員を4校に1人配置することを2018年度から2022年度の目標としております。

香取市ではそれを踏まえ、補助金等把握しながら対応していきたいと考えております。

教育委員 具体的に、何年に何台設置する計画ですか。

学校教育課長 現段階では、何年度までに何台設置するかまでは至っておりませんが、国の予算等を活用しながら、整備を進めていきたいと考えております。ポイントは何に重点をおいて整備していくか、全面展開ではなく、香取市としては何に重点を置いていくか、今後検討していきたいと考えております。

本日の議題にあげました、2点がポイントになるのではないかと思います。

議 長 国の計画が5か年計画とあるが、市町村はこれに対応する計画をたてるのですか。

学校教育課長 現状としてはございません。

議 長 早急に計画をたてて、予算措置等をした方が、良いのではないか。

学校教育課長 対応したいと思います。

教育長 2022年度まで地方交付税措置がなされるとのことですので、市長のご指摘の通り、遅くとも2022年度に照準をあわせて整備を進めるべきだと思います。

今、山田地区5校の統合が進められ、山田地区は山田小学校1校となりますが、通常であれば山田小学校1校分の地方交付税となるところですが、3年から5年の間は5校分の地方交付税が山田小学校に措置されます。これは数値急減補正といいまして、学校数、学級数が急に減少しても、統合前の学校数、学級数で地方交付税措置がされますので、その財源を有効活用して進めていくべきではないかと思えます。

議 長 地方財政措置はどのくらいなのか。

学校教育課長 2018～2022年度まで国ベースで単年度1,805億円の地方財政措置が講じられます。

議長 「課題解決型の授業」とは、そもそもどういったものなのか。

学校教育課長 対極にあるのは、以前ですと、教師は教科書を持って黒板に板書しながら説明することで、知識や理解は非常に効率的に深まる授業と考えられます。この場合子供達に知識は定着します。ただ、知識をいくら身につけたとしても、これからの時代それがどのように活用出来るのか、自分が学んだ事をどう考えたか、どのように解決したか、問題があった時に自分はどう考えたら良いのか、考える力こそが、いろんな分野で必要となります。

まず、授業の中で子供達に課題をだします。例えば月は丸かったり、三日月になったりします。なぜ三日月になるのか。子供達のいろんな意見を取り上げて課題と照らし合わせ考えをだし、子供達が色々資料を調べ、お互いに話し合い、意見の交換を行う中で、一つの考えを導かずプロセスこそが大人になって最も役立つ力なのではないかと思われれます。基本は子供達が何故そうなるんだろうと課題を解決するためのプロセス、考え方に至るまでの過程を大切にするための授業が課題解決型授業となります。

そして、子供達の取り上げたものを最後に教師がまとめあげ、大型提示装置で子供の知識、理解を定着させていきたいと考えます。

議長 各自で教科書を見て理解するには、確かに理解に差が生じて途中でつまづいてしまう子もいると思うが、大型提示装置を使用することで、それを均して全員が同じように理解を深めることが出来るようになるわけですね。

教育委員 私も仕事柄パソコンの授業をすることがありますが、プロジェクターを使用し生徒に説明しますが、生徒が見ていることで顔が見えるため、理解してるか、してないかが分かります。ですので、大型提示装置は一見必要ないのではないかと思われがちですが、必要な学習機材だと考えます。使い方によっては非常に有効的だと思います。

最近ですと、タブレットも良く使われていて、そこに自分の考えを書いたりして、自分の考えをクラスで共有することもできますし、最終的にはその日の課題をチェック出来るように使っていけば、非常に有効だと思います。

コンピュータは色々な使い方ができますので、その中から自分はどれを使用して目的のものを作るか選択していかなければならないの

で、その時もどうしたら一番効率的なのか非常に役立ちます。

ただ、大規模校ですと、コンピュータに触れる時間が少ないとか、小規模校ですと、一人に1台ずつ使用できるなど、学校によって差ができてしまうのは子供にとって良くないので、出来るだけ多くの子供達に触れさせてあげたいと思います。

議 長 ICT教育に関する授業で特に行うものとはどんなものなのか。

学校教育課長 今後行うものとして、プログラミング教育とはなにかをプロジェクターで説明したいと思います。

*プロジェクターで実演

議 長 その他にいかがでしょうか。

ないようでしたら、次の「PC・タブレット等のICT環境の整備について」ご意見を伺いたいと思います。

教育委員 香取市においては、ICT環境の目標が定まっていないとのことですが、目標が定まっていないと予算の話にも繋がらないのではないですか。どれにするかも決まってないのですか。

学校教育課長 先程の話を少し訂正させていただきます。やはり、目標は地方交付税で予算措置されています、5か年計画に示されている学習者用コンピュータは3クラスに1クラス分程度、タブレットタイプも含めて3クラスに1クラス分程度を整備するといろんな授業で使うことが出来ます。大型提示装置・実物投影機については100%を目指していきたいと思います。目標はここに置き、何年度までに何%というのはございませんが、目標を目指していきたいと考えております。

議 長 3クラスに1クラス分程度とは1クラスに30人いたら、30人分と理解していいですか。

学校教育課長 はい、そうなります。

議 長 90人いれば30人分ですね。

学校教育課長 はい、そうなります。

議 長 今、実演してもらったのは、プログラミング教育ですが、現状はどういうものに使用しているのか。

学校教育課長

例えば、国語科では、6年生の意見文を書く学習で自分のテーマに関連した情報を集める際にタブレットを使用し、その場で色々な情報に触れながら、自分で情報を選択し、作文に活用することが出来ます。

社会科では4年生で千葉県の偉人や特産品、また他の県の特徴などをタブレットがあれば、その場でグループごとに調べ合い、お互い情報を共有することが出来ます。理科の観察では写真を撮って観察に活用しています。

先日、実際に学校で行われていたのは、体育の授業で友達の前方転回を動画で撮影し、客観的に見ることで練習に生かしていました。

知識、技能をただ教師がこうするべきというのではなく、お互いが考えあうことがこれからを生きる子供達にとっては生きる力になると考え行っております。

議 長

タブレットのデメリットは何か。

学校教育課長

タブレットは持ち運びができ、手軽に使うことが出来ます。デメリットは、子供達にとって手軽に情報を得られるため、その情報が正しいのかもわからずに信じてしまいます。以前は辞書など他の資料で調べ思考の深まりがありました。デジタルになるとキーワードひとつで短絡的に情報を得てしまうため、施行錯誤して考える機会が減ってしまいます。

よほど指導者がこの学習のねらいは何なのかと明確に持っていないとねらいが達成されないこととなります。

便利な分だけ本当にそれが子供のためなのか、すべての機器デバイスで起こりうる可能性はあります。

教育委員

タブレットを使用して、情報を得るということは非常に便利だと思いますが、得た知識を使って何か表現する、文書を作るとか、グラフを使って情報をわかりやすく作るとか色々得たものを、まとめて思っているものを伝えるために、まとめたりするアプリケーションの使い方も必要になっていくと思います。ただ調べるだけではなくて、得た情報を組み合わせて何かを作り出したり、それを表現したりするツールであるべきで、アプリケーションの使い方も必要になっていきます。発表するのであればプレゼンテーションになるでしょうし、そこに持っていく前に考えて自分の言葉でつくらなければならない、そのための道具がパソコンだと思いますし、キーボードも出来ないより出来た方が良いと思います。ノート型でしたら持ち運びも出来るので良いかなと思います。

子供達に何がいいのか、よく考えないといけないなと思います。単

純にただ調べるだけで、タブレットやスマホは勿体ないと思います。

議 長 3クラスに1クラス分程度の整備は何を整備するのか。

学校教育課長 P Cデスクトップ型とタブレット型の併用が望ましいかと考えています。

議 長 併用とは。

学校教育課長 両方合わせて3クラスに1クラス分程度の整備となります。

教育委員 5か年計画で最初に達成したいものは何ですか。説明を聞いてますと、大型掲示装置は100%整備したいとありましたが、優先順位はありますか。

学校教育課長 コンピュータについては複数年のリース契約になっておりますので、契約切替の際、デスクトップからノート型等にここでいただいた意見等参考にさせていただき、切り替えて行けたらと考えております。それから、大型掲示装置についてはしっかり計画を立てて入れていきたいと思えます。

議 長 その他にいかがでしょうか。

ないようでしたら、次の「ICT機器・大型提示装置等を活用したよりわかる授業の推進について」ご意見を伺いたしたいと思います。

教育委員 先月の教育委員会会議で、佐原中学校を訪問した際、中学1年生が地域を知るために自ら取材し調べてたことを発表する「地域学」の授業でした。その時にひとクラスは担任の先生がスクリーンに子供達が調べたものを提示して子供達が発表してました。あるクラスでは、タブレットに子供達が調べたことを取り込んでスクリーンに掲示してました。それから別のクラスはタブレットに取り込んだものを子供達が操作して説明してました。説明の仕方は内容的に同じでしたが、その扱いは、先生が行ったり、子供が行ったりしてました。それぞれの先生が他のクラスの授業を見ることがありませんから、機器の使用方法が様々でしたが、どの教師でも使えて、子供達も使える有効なものにしていただきたい。

議 長 大型提示装置のデメリットはありますか。

学校教育課長 仮に、学校に2～3台だった場合は移動して使用していましたが、1時間目はどこのクラス、次はどこのクラスと移動しては、先生方の負担も大きく先生方も使用しなくなると思います。使い方も余程目的を持っていないと、ただ見せて終わりとなってしまいます。この大型提示装置をいつでも、誰でも使える環境こそが先程、委員からもありました、何の目的で使用するのか明確にするキーワードになると考えます。

今思い浮かぶデメリットというのはないのですが、大きく見せて終わりとなってしまいます。

議長 教師が活用の仕方の理解度に差があっては、タブレットが有るのと無いのとの差があるのではないかと。

学校教育課長 研修は必要と考えます。

議長 その他、ございますか。

ないようですので、協議を終了します。

皆様からいただきました貴重なご意見につきましては、教育委員会また各部署で持ち帰って検証、検討していただきたいと思っております。タブレットの交換時期も迫っているようですので、機器については考えて協議していただきたいと思っております。

年度計画を立てて、国の地方財政措置もありますので、年度内の補正も可能ですので、1年間待たなくても、計画を立ててそれに沿って進めていただきたいと思っております。

以上で、本日の議題は終了しました。教育委員の皆様には、円滑な会議の進行にご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

進行を事務局にお返しします。

8 閉会

教育総務課長 ありがとうございます。

次にその他であります、何かございますでしょうか。

ないようでしたら、これをもちまして、平成30年度第2回総合教育会議を閉会します。お疲れ様でした。